

令和4年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

国語

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<p>①文学的文章では、登場人物の心情に寄り添うよりも、自分の価値観で設問に答えようとする。</p> <p>②説明的文章では、序論・本論・結論という論の展開がまだ頭に入っていない。</p> <p>③男子は特に文字が乱雑である。</p>	<p>①登場人物の心情を表す言葉に注目して授業を行う。特に主人公の気持ちの変化が起こる部分を丁寧に読み解いていきたい。</p> <p>②形式段落の役割に注目して、段落相互の関係を理解させたい。</p> <p>③漢字、書写指導を通して、字形を整える訓練を行いたい。</p>	<p>①単元の狙いを明確にする。心情を表す言葉に線を引かせる。感想ではなく、物語の粗筋を書かせる。</p> <p>②構成を意識させ、キーセンテンスを探させる。要約文を書かせる。</p> <p>③小筆で楷書、行書をゆっくりと字形を整えて書く訓練をする。</p>
8 学 年	<p>①文学的文章では、字面の物語展開に引きずられ、テーマに迫り切れていない。</p> <p>②説明的文章では、段落の役割がつかみ切れていない。</p> <p>③漢字文法学習では、学習の意欲、定着度が低い。</p> <p>④古典というだけで苦手意識がある。</p>	<p>①物語文ではストーリーの展開に作者の意図を読み取る訓練を行いたい。</p> <p>②各段落を端的にまとめ、段落相互の関係を明確化したい。</p> <p>③漢字学習を行う時間を確保したい。</p> <p>④古典文学をより身近に感じさせたい。</p>	<p>①場面ごとの各登場人物の心情の対比を行い、テーマを明確にする。</p> <p>②形式段落の内容を一文にまとめ、形式段落の相互関係を構成図にする。</p> <p>③毎時間漢字学習の時間をとり、週に一度テストを行う。</p> <p>④古語が現代に通じる意味を持つことを意識させる。</p>
9 学 年	<p>①動詞・形容詞・形容動詞・助動詞の文法的解釈の理解度が低い。</p> <p>②説明文などの「批判的な読み」の仕方が定着していない。</p> <p>③小説的文章における文面の裏に隠れているテーマや意味をくみ取ることが不十分である。</p>	<p>①文法の学習においては、繰り返しの学習が必要だが、授業内では確保しにくい。</p> <p>②「批判的な読み」の定着化もさまざまな文章に触れながら繰り返し解く必要がある。</p> <p>③小説的文章においては、登場人物の行動や心情に注目して、テーマをくみ取る必要がある。</p>	<p>①文法に関しては、隔週で5分間確認テストを実施するなど繰り返し問題に触れていく。</p> <p>②さまざまな文章に触れて、「批判的な読み」を繰り返して、批評文を書かせる。</p> <p>③さまざまな小説的文章に触れて、登場人物の心情をくみ取らせる。</p>